

「猪名川(藻川)のヒメボタル幼虫観察会」を実施 ～ 昨年度をはるかに上回る177匹のヒメボタルの幼虫を捕獲！～

H30.12.8

～猪名川河川事務所～

神崎川水質汚濁対策連絡協議会猪名川分科会の主催で、『猪名川(藻川)のヒメボタル幼虫観察会』を、流域の市民と一緒に実施しました。今回採取したヒメボタルの幼虫の捕獲数量(177匹)、昨年度(7匹)を上回りました。捕獲した全ての幼虫の体長を測り、成長度合いを記録し、もとの場所へ返しました。今後も貴重な生息環境を維持できるよう配慮していきたいと考えています。

- 概要**
- 日時：(設置)平成30年11月30日(金) (回収)平成30年12月8日(土)
 - 場所：猪名川公園付近 猪名川3.4K
 - 内容：ヒメボタルの幼虫採集と観察会と勉強会、子供向けのクラフト
 - 主催：神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会(事務局:猪名川)
 - 協力団体：大阪府立刀根山高等学校生物エコ部、池田・人と自然の会、猪名川ヒメボタルの会、猪名川流域ひめぼたるネットワーク、自然と文化の森協会
 - 参加人数：(設置)合計26人 (回収)合計42人
 - 目的：猪名川流域で人気のあるヒメボタルの幼虫観察会を通して、猪名川の河川周辺環境の改善についての理解を深めてもらう

調査結果

【トラップ作成・設置】

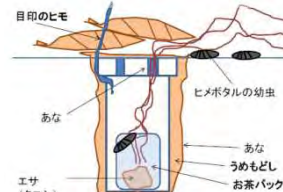
参加者には、トラップ作成・設置を体験していただきました。トラップは、直径3cmほどのフィルムケースに穴をあけ、中に冷凍タニシを入れ、目印の紐を取り付けたものです。全部で277個仕掛けました。トラップは、湿度があり、落ち葉等の有機物の多い幼虫の好むところをねらって仕掛けました。



トラップ作成



トラップ設置



トラップの構造



トラップ設置状況

【トラップ回収・幼虫採集・観察会】

トラップを回収して開けていきました。今年はヒメボタルの幼虫が177匹捕獲できました。昨年度(設置トラップ数:150個、捕獲数量:7匹、捕獲率5%)に比べて多くの捕獲数量を記録しました。刀根山高校生物エコ部さんが飼育しているゲンジボタルとヘイケボタルと採集したヒメボタルを見比べながら観察会を行いました。



トラップ回収



幼虫採集



観察会



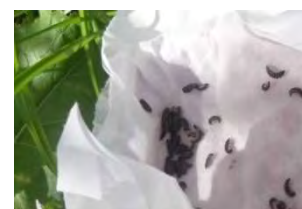
クラフト実施風景

【クラフト】 猪名川で伐採した支障木を使った工作(コースター作り)を流域ネット猪名川さんの協力で行いました。12人で50枚の作品を仕上げました。

【後日】 非常に多くの幼虫を捕獲したので、池田・人と自然の会の協力で、全ての幼虫の体長を調べ、20匹を増やすための飼育とし、残りはもとの場所に逃がしました。大きく育っていることが分かります。

14mm	13mm	12mm	11mm	10mm	9mm	8mm	7mm	6mm
3匹	16匹	58匹	28匹	38匹	24匹	4匹	5匹	1匹

捕獲したヒメボタルの幼虫の全長



捕獲したヒメボタルの幼虫
(調査後、現地に逃がしました)

参加者の声

『近くにボタルがいるとは思わなかった。とても貴重な体験ができた。』
『子どもが楽しくコースターを作ることができ、良かった』など

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 工務課
〒563-0027 大阪府池田市上池田2-2-39 TEL 072-751-1111 (代)

